発行／稚内信用金庫 ジャスト･ナウ編集部
〒097-0005 稚内市大黒3丁目3番38号 ☎0162-23-5855 ㊠0162-23-5146

稚内しんきん コミュニティ誌「ジャスト・ナウ」平成元年12月創刊

JUST NOW

稚内しんきん
発行日／令和8（2026）年9月
Vol.143
https://www.shinkin.co.jp/wakashin/

稚内しんきんの情報は、ホームページでも詳しくお伝えしております。
また、本誌ジャスト･ナウでは皆さまからのお便りをお待ちしております。
身近な話題、取り上げてほしい題材など、お葉書･FAXでもお気軽にお寄せください。





Vol.143 CONTENTS

ハイヤー会社がデマンドバスを受託 ㈱北星観光 代表取締役 **鎌田 国彦**さん（遠別町）
最北の蕎麦づくりに挑む ㈱N45ファーマーズ 代表取締役 **大橋 泰史**さん（豊富町）
歌で心をつなぐ、わっかない子どもミュージックサークル **エンジェルボイス**（稚内市）
遠別商工会女性部が町の特産品を手づくり **えんべつコロッケ**（遠別町）
北窓窯に学び、独自に生活雑器を極める陶芸愛好家 **竹岡 政仁**さん（幌延町）
天塩警察署 問寒別駐在所 巡査部長 **藤原 賢二**さん（幌延町）
鮮度重視の自家焙煎 さいほく珈琲の**「珈琲ドリップバッグ」**（稚内市）

Cover Photo
「珈琲（コーヒー）の生豆（きまめ）」
〈稚内市〉

今号の表紙は「さいほく珈琲」の生豆。
世界各国の豆の味を知りたい人、
珈琲にこだわりがある人、自宅派の人に
ぴったりな珈琲自家焙煎所です。

●12P/いいもの見つけた

鎌田 国彦さん

㈱北星観光――代表取締役

デマンドバスとハイヤー業務を通じて町に貢献。交通弱者の足となる覚悟です。



①



②

①ハイヤーと事務所。車は環境に配慮したハイブリッドカーで、いつ乗車してもピカピカで清潔。②3台のデマンドバスを保管してもまだ余裕がある大きな保管庫（車庫）。バスの車体には遠別町のマスコットキャラクターの「モモちん」が描かれている。

北海道のすみずみまで鉄路が網羅された約50年前の古い地図を見ると、やるせない思いに駆られます。いくつものローカル線が廃止されるたびにバス転換が図られ、留萌と幌延を結んだ羽幌線もご多分にもれず、廃線（昭和62年）後は沿岸バスが公共交通を担うことになり、遠別駅もバスターミナルへと姿を変えました。

ところが昨今はバスの運転手不足もあって、代替となるバス路線の維持さえも危ぶまれる深刻な事態を迎えています。路線バスのダイヤ縮小や廃線は道都札幌でも進み、今後は道内各市町村も持続可能な地域公共交通のあり方を確立していかなければなりません。

遠別町の交通網は、日本海沿いに南北を貫く国道232号と、国道に接する2つの道道（遠別中川線・名寄遠別線）が幹線道路となっていて、この3路線はバス通りでもあります。しかし、令和2年に道道2路線から沿岸バスが撤退したため、遠別町はデマンドバスを運行することになりました。

その委託業務を引き受けたのが㈱北星観光です。遠別にこの会社がなければ当地の公共交通は麻痺していたでしょう。鎌田社長を訪ねました。

貸切バス業務で送迎を行っていた頃の鎌田社長。







町からハイヤーが消えたら!?ハイヤー会社の存続を決意

「もうボチボチ仕事をやめて、年金もらって暮らそうか、そう家内と話していた矢先でした。遠別町からデマンドバスの委託業務を依頼されたのは。

私がこの町でハイヤー業務（一般乗用旅客自動車運送事業）に携わったのは、平成5年からでした。㈱北星ハイヤーを引き継いだのです。

もとからこの町にはハイヤー会社は1社しかなく、前身は沿岸バスさんのグループ〝沿岸ハイヤー〟遠別営業所だったそうですが、遠別から撤退することになったため、町が大騒ぎになりました。そこで有志数人が株を持ち合って、昭和51年に事業を承継しつつ、沿岸ハイヤーから北星ハイヤーへと社名を変え組織変更したのです。ところが、平成5年に経営者の建設会社社長が事故により亡くなってしまいました。いよいよ遠別からハイヤーが消えようとした時、白羽の矢が私に立ったのです。

有志の一人から『あんたは遠別に来るまで車の運転手だったんだろ？ここはひとつ町のために一肌脱いで、ハイヤー会社を継いでくれないか』と打診され、それを断ったら遠別で生きてはいけないなと思って、承諾を得るため家内を説得しました。

実は、私ら夫婦は紆余曲折を経て昭和59年に羽幌から遠別に移住して『スナック夜蘭花（よらんか）』という店を経営していたのです。ハイヤーがないと店も困るし、店は女性スタッフを一人雇用できればやっていけるだろうと家内を説きふせ10年振りに運転手に復帰することにしました。とは言うものの、かつて運転していたのはタクシーやハイヤーではなく、長距離トラックや大型トレーラーでした。

幸運は重なるもので、東京で仕事をしていた息子に『ハイヤー会社をやることにした』と報告すると『北海道に帰って手伝おうか』と言って彼女（後に遠別で結婚）を連れてきて、私より先に2種免許を取得してしまうほどでした。家内とともに店を切り盛りしてくれた女性スタッフにも恵まれました。人柄が本当に良くて『私、結婚するまでは店で頑張るからね』といつも笑顔の人でした」



定員9名のジャンボタクシー。右半分に見えているデマンドバスの定員は15名。現行のハイヤー運賃の初乗りは、普通車750円、1,400mまで。



1Fは4年前まで営んでいた「スナック夜蘭花（よらんか）」。2Fが住宅。道路を挟んだ向いにはセイコーマート遠別店があり、便利な立地。

遠別町

遠別町への恩返しと思い、デマンドバスの委託を請負

「ハイヤー業務は再構築する必要がありました。なにせ蓋を開けてみたら負債が600万円もあったのです。それを車2台で初年度1，200万円を売上げ、順調に軌道に乗せていきました。とにかく安全運行を基本原則として、お客さまに喜ばれるサービスに徹した結果です。

3年後の平成8年には貸切バス業務（一般乗合旅客自動車運送事業）に参入し、定員29名の小型バスを3台導入しました。その頃は宗谷バスさんも沿岸バスさんも小型・中型バスを持っておらず、その隙間に入りこめるような仕事があったのです。いまでも忘れられませんが、当時、稚内商工高校（平成25年に稚内高校との統合により閉校）にいたバスケットボール部の顧問の先生から部活の遠征などの送迎を依頼されたのをきっかけに、各学校の部活などの送迎、社会人スポーツ関係者の送迎が次々に舞い込み、いつしか中型・大型も1台ずつ増え、こんな小さな町の業者なのに5台もバスを揃えていたのです。幸いにも名の通った大手の旅行代理店さんとの取引がなかったため、大阪の登山専門の旅行代理店さんには長くお世話になりました。こちらも小さな会社だからこそ小回りをきかせたサービスに努め、利尻・礼文両島をめざすお客さまとバスガイドさんを何度稚内フェリーターミナルまでお送りしたか分かりません。

しかしやがて、どこからともなく圧力がかかり、補助金を得て事業に入札してきた大手と見積競合しなくてはならない事態に陥りました。それではもう勝算はありません。そこでキッパリとバス事業から手を引くために、令和元年11月に、所有していたバスと整備道具なども売り払ったのです。すると、翌年2月から新型コロナウイルスが蔓延し、旅行や観光事業もストップしてしまいましたから、ダメージを受けずに済んだのです。友人からは『お告げでもあったのか？』と冗談交じりに言われましたが、もしあのままバスを手放さなかったら、今日の私の会社はなかったかも知れません。

幸運の女神が再び訪れました。令和2年9月いっぱいで沿岸バスさんが撤退した2つの路線バス〝上遠別線〟と〝清川線〟を遠別町がデマンドバスで運行することを決め、当社に委託の話が持ち込まれました。冒頭お話した通り、引退しようと考えていたところでしたが、これまで町に育てていただいた感謝の気持ちもありましたから、恩返しのつもりでデマンドバスを請負う運行委託会社として新しい路を歩き出しました。

デマンドバスにはいわゆる停留所がなく、住居に近い場所で乗降できます。ハイヤーに限りなく近い乗合の戸口から戸口への送迎サービスを行える新たな可能性を秘めています。現在は2路線とも平日各6便（3往復）、土曜・祝日各2便（1往復）で運行し、運休日は日曜と年末年始（12月31日～1月3日）です。ただし乗車予約は必ず必要で、前日17時までに予約しなければなりません。遠別には課題がないわけではありません。遠別にはスクールバスがないため、デマンドバスがその一端を担っているのですが、路線が2ルートしかないため、それ以外の郊外から子どもたちが通うとなると、現在は親御さんが国道沿いの豊富留萌線の停留所まで車などで送迎しなくてはなりません。昨今はヒグマ問題もありますし、国道と言えども児童が一人でいるのはリスクが大き過ぎるので、その対策を町と議会でいち早く決めてほしいものです。来年小学校に上がる新1年生のためにも。

つけ加えますと、デマンドバスは学校の運動会や発表会などの行事がある場合は臨時便で対応しています。

コロナ禍以降、ハイヤー業務も厳しくなってきました。しかし、この町にも車を持たない高齢者や自力で病院に通うことのできない人もいます。そういう人たちのためにも、たとえこの先、ハイヤー業務が赤字になったとしても撤退させないための支援策を行政としても考えてほしいと思いますし、私たちも会社を挙げて地域の公共交通を守り、町の交通弱者の足となる覚悟でいます。

従来ハイヤー業務の営業時間は朝8時～夕方6時でしたが、町の要請を受け、夜10時まで延長しています。札幌と豊富を結ぶ高速バスの最終便が遠別に到着する時間帯だからです。たとえ吹雪でもJRが動く限り、遠方から遠別の国保診療所に来てくれる出張医の先生の幌延駅までの冬期送迎なども担いながら、今後も少しでも町に貢献できればと思います」

★デマンドバスが運行する2路線郊外には遠別を象徴する北限の稲作地帯が広がっています。清川線（道道119号）には「日本最北の水田」があり、上遠別線（道道688号）には「水稲発祥の地」の碑が建つなど、見渡す限り青々とした水田が広がり、お米農家が連なっています。

★遠別町では町民の高齢者福祉対策として、申請により65歳になると旭温泉入浴券10枚、70歳になると北星ハイヤー利用券（初乗り相当額）10枚を配付しています。65歳以上の方で、自動車免許を自主返納した方には沿岸バス各回数券、または北星ハイヤー利用券（初乗り相当額）を配付しています。（※1人1回限り3万円分まで）

Personal Profile

鎌田　国彦さん

昭和22年5月生まれ、東利尻（利尻富士）町出身。中学卒業後稚内へ出て、左官屋に。その後、稚内の魚を札幌の市場に運ぶ運送業に転職。やがて長距離トラックに乗るために名古屋へ行き、全国をトラックでまわる。その後、北海道に戻り羽幌町で大型トレーラーに乗る。しかし腰痛のため車の仕事を辞し、昭和59年遠別町でスナックを経営。平成5年、㈱北星ハイヤー代表取締役に就任。

Company Profile

株式会社 北星観光
遠別町本町6丁目24番地2　ハイヤー ☎01632-7-3222　事務所 ☎01632-7-2462
■事業内容／一般乗用旅客自動車運送事業（ハイヤー事業）　一般乗合旅客自動車運送事業（デマンドバス事業）
■会社設立／昭和51年　平成24年に社名を北星ハイヤーから北星観光に変更　■資本金／1,300万円　■スタッフ数／4名

豊富町

大橋 泰史さん

株式会社N45ファーマーズ ―代表取締役

北緯45度、日本最北の地でキタワセソバの栽培に挑戦！まもなく自社製粉もはじまります。





㈲道北機械サービスの敷地の一角に建つ社屋と事務所内部。社屋の手前にある桁違いに大きい牽引用アタッチメント・カーゴが、本業が海外製の農業機械販売であることを物語っているように見えました。

白い花を咲かせるのに、実は黒い蕎麦。見た目は可憐だけど、中身は職人向きということでしょうか。

北海道のソバの作付面積は全国第1位。約4割のシェアを持ち、市町村別では1位幌加内町、2位深川市（主に多度志）、3位旭川市（主に江丹別）と北海道が独占し、収穫量も同じ順。主流の品種は〝キタワセソバ〟と思われますが、たとえ同一種であっても土壌の状態、標高、昼夜の寒暖差、収穫時期、製粉技術、打ち方で味わいはかなり変わってくるのだそうです。特に気候は香りや甘みに影響し、土壌は風味、製粉はキメと香り立ち、挽きぐるみによって野趣に振れるか上品さに向かうか…。やはりソバは職人向きのようですね。



ソバは収穫時期によって変わってくる。早刈りの青ソバのおいしさは格別とか。

―昨年まで豊富でソバを栽培していたのはN45ファーマーズだけでしたが、6件まで増殖中。豊富で生産されたソバを町内で「挽きたて打ちたて茹でたて」の3たてで食べられる、手打ちの体験場所もつくりたいとのこと。

しかしながらソバ好きのDNAを道産子は持っているみたいで、函館市南茅部の縄文前期末のハマナス野遺跡からソバの種子が出土しています。もしかすると私たちの先祖はお米よりもずっと前にソバを食べていた？

さて、今回は、豊富町で7年前からソバの栽培を研究し、令和4年に株式会社（農地所有適格法人）N45ファーマーズを設立し、日本最北の地で〝キタワセソバ〟の本格的な栽培をはじめた大橋社長を訪ねました。

離農した農家さんの牧草地を買い取ってソバ畑に

「通っていた地元の豊富高校の卒業が近づいても、将来どんな職種の仕事に就きたいかまでは想像できませんでした。偶然、中標津日新農機株式会社（コーンズ・エージー）さんに入ったことで、農業機械の販売とサービス（整備・修理・アフター）が天職のようになったような気がします。その後、3つの会社を渡り歩きましたが、一貫して農業機械と整備士の勉強をさせてもらったことで、あれこれ道に迷わずスキルアップできたのかなと思います。

私の本業は、主に海外ブランドの大きな農業機械・産業機械の販売とサービスです。トラクターをはじめ耕作機械とアタッチメント、ホイルローダーや自動操舵システムなどで、メーカー名で言うと特約店に指定されているドイツの〝クラース〟、フィンランドの〝アバント〟。他には国内の〝㈱タカキタ〟スノーブロワなども若干取り扱っています。

そのノウハウを活かした6次産業化（生産・製造・加工・流通・販売・サービスを一体的に取り組む）を考えていたところ、ソバなら手がかからないだろうから、自分一人でできると畑を探していました。現在は農家でなくても農地所有法人であれば、農地を購入することができるのです。

私は農家さんの畑耕こしなど農作業の受託（コントラクター事業）も行っているのですが、町内の徳満地区で酪農業を営んでいたお客さんから『もう歳だし身体も動かなくなってきた。離農するから、あんた私の農地を買ってくれんかい』と言われ、早々にチャンスがめぐってきました。

徳満の畑は牧草地でしたが、牛の飼料用にデントコーンを育てていたため土に地力があり、期待に胸が高鳴りました。

ところが1年目、かろうじてソバが1t穫れましたが、乾燥に失敗し収穫はゼロ。2年目はエゾ鹿に全部食べられて、やはりゼロ。惨憺たるスタートでした。

ソバは手間がかからないというのは誤情報で、不具合のあった畑の排水作業、起伏を整え耕作し、エゾ鹿対策用の電柵も必ず設置しなければなりません。いちばん難しいのは湿気の管理で、湿害を失くす努力は怠れません。堆肥と緑肥で豊富な有機質を含んだ畑をつくり、少しずつ収量を増やしていきました。

また、豊富温泉地区の牧草地も取得し、徳満と合わせ現在は約50ha（東京ディズニーランド®の総面積に匹敵）まで拡張しました。そうして昨シーズンようやく12t穫れたところです。と言ってもそれはソバの総量であって、玄ソバの皮を剥いて選別し、製粉するとかなり減ります。一般的な目安は、総量22.5kgを製粉すると16kgになると言われています。今年は30tの収穫を目標に置いています。

自家製粉で6次化を図る

「ソバづくりに派手なものは一つもなく、一日一日コツコツとやるしかありません。『エゾ鹿の被害にあった…』『反収が落ちた…』と嘆くのではなく、やることをやっていなかった結果として全部自分で受けとめなければなりません。悔いを残さないためにも日々の努力が大切です。苦しいことも多いですが、秋の収穫の喜びは形容しがたく、コンバインで刈っていくと、ダダダッーっとソバが入っていく恵みの音にすべての苦労が洗い流されていきます。だからまた春の種播きも頑張れるのです。

収穫したソバの一部は稚内の春名農産で挽いてもらい、豊富温泉の老舗「川島旅館」さんと「すずパンCafe」さんでも採用され、おかげさまで高い評価を得ています。年末までには6次化に向けた製粉機も納品になる予定で、目下、春名さんから教えを乞うているところです。

目標は、豊富・宗谷も有力なソバ産地の仲間入りを果たすこと。その日を夢見て明日も畑で頑張ります」

風に撫でられながら揺れるソバ畑（豊富温泉）。もう一つの徳満の畑は、宮の台展望台から見ると壮観。
写真をよく見ると、手前にエゾ鹿対策用の電柵で覆っていることが分かる。



倉庫の奥に縦型に並んでいるのは、ソバの実用の乾燥機。製粉機が届き次第、ここに設置されます。



大橋さんが収穫した「キタワセソバ」の玄ソバ。

Personal Profile

大橋 泰史さん

昭和41年9月、豊富町で農協職員（JA北宗谷）の子として生まれる。豊富高校卒業後、農業機械販売・サービス会社に勤務。中標津日新農機株式会社（コーンズ・エージー）、北海道オリオン㈱、JA北宗谷豊富整備工場を経て、平成9年に豊富自工㈱入社。平成16年2月、㈲道北機械サービス設立と同時に代表取締役に就任。令和4年、㈱N45ファーマーズ設立と同時に代表取締役に就任。

Company Profile

㈱N45ファーマーズ
豊富町字上サロベツ476-26　090-3892-9492　㊎0162-82-3319
■事業内容／ソバの実（玄ソバ）の生産・製粉・販売など　■設立／令和4年9月　■資本金／300万円
■グループ会社／㈲道北機械サービス（農業機械全般、産業機械の販売・サービス）　■社員数／4名（グループ会社含む）

音楽の素晴らしさを伝えながら、無償の愛を注ぐ。

歌で心をつなぐ
わっかない子どもミュージックサークル
エンジェルボイス



エンジェルボイス
代表
高井　早苗さん

昭和24年、稚内市生まれ。稚内高校卒業後、東京の音楽学校に進学。昭和44年、教諭となり稚内中央小学校で音楽教師となる。昭和51年、NHK全国学校音楽コンクール（Nコン）全道大会3位入賞。子どもたちと全国大会を目指すも家庭の事情により退職。その後、社会人の合唱団を指導するなど社会教育の場で貢献する。昭和59年から稚内市内の中学校合唱コンクールの審査委員長を務める。平成15年、ミュージックサークル「エンジェルボイス」を立ち上げ、代表となる。現在77歳。

［エンジェルボイス／主な表彰歴］
■稚内市文化奨励賞（平成26年）
■北海道青少年育成協会表彰（平成28年）
■札幌キワニスクラブ社会公益賞（平成29年）
■稚内ロータリークラブ社会奉仕賞（平成30年）
■稚内市文化功績賞（令和5年）

わっかない子どもミュージックサークル『エンジェルボイス』の代表、高井先生をはじめ3名の音楽指導スタッフと準スタッフ1名、保護者会を代表し2名が会しました。7人はそれぞれ〝声〟がまったく違います。実に個性的な声で、金子みすゞ風に言えば「みんな違ってみんないい」。合唱は、そんな声を一つに合わせるために、みんなで心をかよわせるから美しく響きます。

高井先生はまるで歌うように話します。そのとき、ほかの誰かが話に割って入るようなことはしません。でも話が振られれば、それぞれが思いを語りはじめます。あたり前の些細なことのようですが、他者の声に耳を傾ける〝聴く力〟こそが音楽にとって重要であることは言うまでもありません。そこには想像力と協調性、思いやりの気持ちが働いていました。個性を尊重し合うその姿が、エンジェルボイスの本質を示していました。

稚内に子どもたちの合唱団を
つくりたい、その夢をかなえる

代表の高井先生に、会を立ち上げたきっかけからお聞きしました。

「いまから23年前のことです。その頃の稚内にはスポーツ少年団はいくつもありましたが、子ども向けの音楽サークルはありませんでした。私は稚内に〝子どもたちの合唱団をつくりたい〟という夢を持っていましたので、実現するため音楽仲間に声をかけました。そのときの仲間が、小島先生、荒木先生です。あとから角谷先生にも入っていただきました。ほかにも市内の音楽教師、ピアノの先生など10人が集まり、エンジェルボイスを立ち上げました。忘れもしない2003（平成15）年11月8日の第1回目の集まりには、70人もの子どもが参加し、そのなかには稚内中央小学校時代の私の教え子のお子さんも来ていて、なんだか自分の孫のような気がして嬉しかったです」

いつも応援してくださる
みなさまに感謝いたします

「私は音楽に集中すると、まわりのことが見えなくなってしまい、先生方にもずいぶん迷惑をかけてきたと思います。これだけ子どもたちのために手弁当でボランティアとして指導してくださっているのに、ある時期まで交通費も指導料も支払ったことがなかったのです。しかし、そのことに文句を言う人はついに一人も現れませんでした。誰もが子どもたちのために純粋な気持ちで無償の愛を注いでくれた証左で、稚内が誇るべき教育者です。ほんのわずかな額でしたが、はじめて交通費と気持ちばかりの謝礼をお支払いできたのは、会の発足から15年を経た2018（平成30）年のことで、5年に1回開催する『エンジェルボイス・ミュージカル』が第3回目を迎えたときでした。市民の方からいただいた寄付金で賄わせてもらいました。この場をお借りし、心より御礼申し上げます。子どもたちの負担も極力抑えようと活動開始から10年間、月謝は500円でした（物価上昇に伴い現在は2千円）。そこから会場費、印刷費などを上手に捻出してくれる会計係、日頃から練習と発表会の運営を絶大なチカラで手伝ってくれる保護者のみなさま、何かあると駆けつけてきてくれる成長著しいOB・OGのみんな、さらにいつもエンジェルボイスを応援してくださり、コンサートに駆けつけてくれるすべての人に感謝いたします」

子どもの成長が何よりもの喜び

「現代の子どもの中には不登校気味の子、人前で言葉を発せられない子、ジッとしていられない子などいろいろな子がいますが、みんなエンジェルボイスの仲間です。その子の個性と思って、スタッフも保護者も自分の息子・娘さながらに愛を注ぎます。そうしてここが自分の〝居場所〟だと気づいたとき、子どもは変わり、大きく成長します。学校には行けないけど、歌仲間のいるエンジェルボイスには来れるようになった子。自己紹介もできなかったのにミュージカルで主役を演じた子。音楽や仲間を通して成長した子どもをいったい何度目のあたりにしてきたことか分かりません。ここから巣立ったOBの中にはホリプロの俳優となって『ハリー・ポッターと呪いの子』の舞台で、準主役のスコーピウス・マルフォイ役に抜擢された人もいて、改めて子どもの可能性は無限だと私たちは信じています」

後進に託したい夢

「もし私が健康を害し、歌の指導ができなくなった時にはスッと身を引く覚悟です。でも私がいなくなってエンジェルボイスが消えてしまっては困ります。いつまでも歌で心をつなぎ、長く続けていってください。今年発表された東洋経済新報社の住みよさランキング2026で北海道・東北編で稚内が北海道2番手として紹介されました。嬉しいニュースでした。みんなでいつまでも住みよいこの地域を愛し、地域の子どもを育てていってください」



エンジェルボイスのスタッフ
左から
●保護者会事務局長／杉川　由貴さん
●スタッフ（指導）／角谷由美子さん
●保護者会会長／江川あささきさん
※この他にもスタッフが4名在籍。
指導／藤森祐子さん、鍵優季子さん
右から
●準スタッフ／柳谷　藍さん
●スタッフ（指導）／荒木　和恵さん
●スタッフ（指導）／小島　康秀さん
●代表（指導）／高井　早苗さん
会計／古西悦子さん、江川千恵子さん

私もひとこと

小島康秀さん
高井先生は音楽に対しては妥協しない方でも20年前と比べるとやわらかくなりました！

荒木和恵さん
23年間最初から活動を見てきた高井先生だから1年間の活動が頭の中に。いつも指示は的確です

柳谷藍さん
小5から入って 上の人に頼ってばかりいたけど準スタッフになって、少しは先生を助けてあげられてるかな？

角谷由美子さん
私たちスタッフも子どもたち同様に高井先生から惜しみなく合唱や指導について教えていただいています

江川あささきさん
みんな私の子どもみたいに思えるんです
上の子がコンサートのポスターを描かせてもらいました！

杉川由貴さん
ステージで子どもが泣いて「出ない!」って母親の私が歌わせるために初舞台を踏むという珍事を…

毎年恒例の自主文化事業「スマイルコンサート」より（2025.9）



いしがき少年少女合唱団を迎えて行われた「20周年ジョイントコンサート」より（2023.9）



エンジェルボイスは、稚内で開催されるアーティストのコンサートでもこれまで数多く共演しています。
最近では南こうせつさん、タケカワユキヒデさんなど。
国際的なクラシック演奏家との共演も果たしています。



稲美少年少女合唱団を迎えて行われた「ウェルカムコンサート」より（2025.8）

エンジェルボイス 活動状況
《練習》
■場所／生涯学習総合支援センター
風〜るわっかない（稚内市富岡1丁目1-2）
4〜9月／コンサート前 毎週土曜10時〜14時
10〜3月／隔週土曜10時〜12時
《コンサート・スケジュール》
■6月／白夜祭
■7月／WAKKANAIみなとコンサート
■8月／南極樺太犬慰霊祭
■9月1日／平和祈念の灯
■9月／スマイルコンサート（定例公演）
■10月／うたごえボランティア（施設訪問）
■11月／SO-YA夢コール
■2月／生涯学習フェスティバル
●5年に一回の創作ミュージカル公演
《本年の特別企画》
■11月1日／3つの合唱団による合同コンサート
『空はつながっている　心もつながっている
今！ニッポンの真ん中で生まれる
奇跡のハーモニー』（会場：兵庫県稲美町コスモホール）
・エンジェルボイス（北海道稚内市）最北端のマチ
・稲美少年少女合唱団（兵庫県稲美町）真ん中のマチ
・いしがき少年少女合唱団（沖縄県石垣市）最南端のマチ

エンジェルボイス 団員募集!!

合唱を中心に創作ミュージカルなど、仲間と一緒に楽しく音楽をつくってみませんか？対象年齢は小中高校生が中心ですが、保育園・幼稚園児から保護者の大人まで、音楽好きの方ならどなたでも参加できます。興味のある方は下記インスタグラムをチェック！雰囲気が分かる「入団体験会」がオススメです！

@angelvoice.w
@エンジェルボイス-u4r

噂の店や宿を訪ねて

マチコミ クチコミ 取材班

遠別商工会女性部が町の特産品を手づくり
遠別産ホタテとタコがゴロッと入った「えんべつコロッケ」

B級グルメコンテストでグランプリを獲得、商品化へ

地域活性化を目的とし、ご当地グルメでまちおこしをしようと、遠別商工会がB級グルメコンテストを平成24年（23年度事業）に開催し、グランプリを獲得したのが『まるごと遠別コロッケ』でした。それをきっかけに、事務局から「商工会女性部で作って町の特産品にできないか」と打診され、翌25年から私たちが担うこととなり、商品化しました。



冷凍パッケージ▶

えんべつコロッケ 1個 350円（イートイン）
えんべつコロッケ 冷凍2個入 590円
イートインは道の駅えんべつ富士見のフードコートで。

本音を言えば、業者さんにレシピを渡して頼めばラクなのでしょうが、試食したところ味や風味、食感が思いどおりにならなくて、結果的に部員が手分けして、手づくりすることに決めたのです。その後、道内、全国にPRするために『えんべつコロッケ』とネーミングを改め、テレビや雑誌、物産展でも知られるようになっていきました。

ホタテもタコも遠別町産

えんべつコロッケの特徴はなんといっても、遠別産のホタテとタコ（ミズダコ）がゴロッと2個ずつ入っていることです。ジャガイモ（男爵）や玉ねぎもすべて遠別産です。特にイモはよく潰してあるためシットリし、玉ねぎの甘みと魚介類の風味が一段とおいしさを引き立てています。カリッと、カラッと揚がるよう、パン粉を2度付けするなどの工夫も凝らしています。


ホタテとタコの存在感がものスゴい
遠別はホタテ稚貝の産地として有名ですが、コロッケには大きな成貝の貝柱を使用。タコもいいアクセント。

町内では『道の駅 えんべつ富士見』で食べることができます。ご自宅で揚げたて熱々を味わえるよう冷凍も販売しています。


年間約1万3千個を手づくり
女性部の会員は51名。コロッケ製造は10名前後が交代しながら遠別町農業振興センターで行っている。

北の恵み 食べマルシェに出店

おかげさまで、これまで『なまらうまいっしょ！グランプリ』（平成29年・札幌）で準グランプリ、『全国コロッケフェスティバル』（令和元年・茨城）で第3位を獲得するなど高評価を受けることができました。この9月には『北の恵み 食べマルシェ』（旭川）への出店も決定しました。

女性部では児童・高齢者福祉活動も行っていますが、給食センター（学期毎3回）にコロッケを提供し、子どもたちから『おいしい！』と喜んでもらえることが、何よりも励みになります。



遠別商工会女性部
部長 **後藤 葉子**さん

遠別商工会女性部
住 遠別町字本町4丁目1番地25
マナピィ・21
（遠別町生涯学習センター）
TEL 01632-7-2245

道の駅 えんべつ富士見
住 遠別町富士見46-1
TEL 01632-9-7555
営 9：00～18：00（4～10月）
10：00～17：00（11～3月）
休 12月30日から1月3日
車 稚内から約1時間30分
旭川から約2時間40分
札幌から約4時間

遠別商工会女性部
道の駅えんべつ富士見

※価格はすべて消費税込み。
イベント時は価格が変動します。


写真は、毎年9月の連休に旭川で行われる「北の恵み 食べマルシェ」の出店風景。毎回2千個でも足りなくなる。町内では8月の「消費者還元商工夏まつり」、2月の「えんべつ冬まつり」などのイベントでお馴染み。


北海道じゃらん道の駅ランキングで昨年第3位を獲得した「道の駅 えんべつ富士見」。毎年約17～18万人が訪れ、フードコートでの飲食や遠別の特産品を買い求めている。


道の駅の特産品コーナーの冷凍ショーケース。ロッケが道の駅に届く前までは、遠別漁業協同組合の冷凍庫で保管されるなど、町を挙げて応援・協力体制を整えている。

わたしの好きなこと



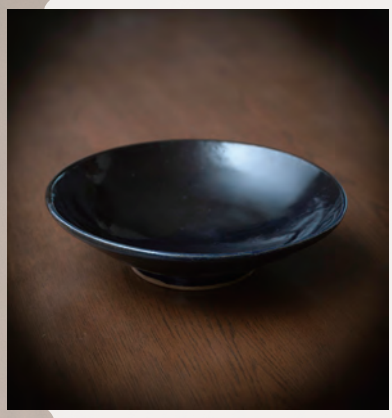
お猪口やカップ類など一部の作品は、ほろのべトナカイ観光牧場の「レストランポロ」、JR幌延駅内「ホロカル」で展示。

旭川の北窓窯に学び、独自に生活雑器を極める。



竹岡　政仁さん（64）

●昭和37年幌延町生まれ、幌延町在住。元幌延町消防署長。問寒別陶芸クラブ、中川町陶芸サークル所属。また、幌延町手打ちそば愛好会事務局長を務め、教育委員会主催の“チャレンジ教室”で手打ちそばを指導。幌延きってのスポーツマンでもあり、幌延町スポーツ推進委員長も務める。



大皿／曜変天目（ようへんてんもく）
黒の奇跡とも呼ばれ、中国の南宋時代（12～13世紀）からある天目のうち最上級のもの。焼き上げる過程で黒釉（こくゆう）が変化し、漆黒の器に藍色が美しく輝く。

夏休みの家族旅行で陶芸を体験

かれこれ20数年前、子どもがまだ小学生だった頃の話ですが、夏休みを利用して、毎年家族旅行に出かけていました。それがある年から、ただ観光するだけではなく「何かを体験しよう」ということになり、家族で旭川の『大雪窯』ではじめて陶芸にふれる機会を得ました。それが私と陶芸の出会いです。

同じようにある年『新得そばの館』で手打ちそばづくりを体験し、それ以来、今日に至るまでそば打ちが趣味になり、現在でも毎週のように打っています。ちなみに全麺協の段位認定では4段を取得しています。

一方、陶芸からは、しばらく離れてしまっていたのですが、幌延町の消防署に勤めていた私が問寒別分遣所に異動（3年間勤務）になったことが縁で、その時の地域の消防団幹部から陶芸活動に誘われ、再び私の心に火が点き、陶芸の世界に足を踏み入れることになりました。

北窓窯の吉田時彦先生に師事

どうせなら基礎からしっかり学ぼうと思いまして、先生を探すことにしました。北海道で陶芸のマチといえば江別や旭川などが有名で、さまざまな窯元を訪ねるうちに、ついに師匠と出会うことができました。それが、旭川の北窓窯、吉田時彦先生です。奇しくも先生は私が生まれた昭和37年に築窯され、旭川の陶芸界の魁のような人でした。先生は郷土の鷹栖粘土や神楽美土を陶土にし、大雪火山灰の釉薬〝耀雪釉〟をよくお使いになられ、私も分けていただきながら、約4年、毎月1～2回、幌延から旭川へ通い、やきもののイロハから学びました。

残念ながら吉田先生は亡くなられてしまいましたが、形見分けといいますか、いくつか所有する作品は、今でも大切に工房で保管しています。



酒器／白土 青萩釉（あおはぎゆう）
山口県の萩焼に代表される青萩釉。青みを帯びたやわらかな発色が特徴で、渋さも感じられる。ちなみに竹岡さんはお酒は一滴も飲まないが、酒器をつくるのは好き。

粘土や釉薬には特にこだわらず

現在の工房には〝ろくろ〟はありますが、窯（灯油）は手放し、私が所属する問寒別と中川町のサークルが利用している窯（電気）に便乗させてもらっています。本当は幌延や宗谷の粘土が使えればいいのですが…。以前、幌延深地層研究センターが掘り出した土や、珪藻土を配合した粘土も考えましたが、粘りがなく陶土には耐えませんでしたので、一般的なものを使っています。釉薬は藁白や青萩なども好きですが、これといった作風はなく、広い意味での生活雑器ばかりです。



花瓶／鷹栖粘土 耀雪釉（きせつゆう）
竹岡さんの陶芸の師匠である北窓窯の吉田時彦先生から分けていただいた粘土と釉薬でつくった花瓶。釉薬には大雪山の火山灰が含まれ、焼くと表面が荒々しくなる。

展示は金田心象書道美術館でも

焼きの目安は、成形800℃、本焼き1250℃で、焼成後は各3日ほどかかります。陶芸の難しさや面白さも、焼き上がってみないとイメージ通りかどうか分からないところにあります。時には想定外なものができたり。

作品は幌延町文化祭での展示（約150点）をはじめ、時々、金田心象書道美術館ロビーでも60点前後を展示し見ていただいています。



金田心象書道美術館にて。



一人ひとりの心がけと地域の力を結束して―

「地域の安全と安心を守る」北のマチのおまわりさん





北海道旭川方面天塩警察署
問寒別駐在所 巡査部長 **藤原 賢二**さん(36)

■出身地：帯広市
■出身校：帯広大谷高校、札幌大学（旧 法学部・自治行政学科）
■赴任地：釧路方面釧路警察署
　　札幌方面白石警察署
■家族構成：独身
■趣味：スノーボード
■好きな食べもの：ラーメン/特にラーメン山岡家 稚内店が好き
■問寒別のいいところ：人が気さくで温かく素晴らしい地域です

良型の山女魚を釣り上げる藤原さん。渓流釣りは問寒別に来てから始めた。



冬の休日は近郊の市町村や道内各地でスノーボードを楽しんでいる。

問寒別に、ぜひ遊びに来て！

私はスノーボードが趣味なので、山の中の駐在所勤務を希望していたところ、まさしく絵に描いたような山の中の駐在所〝問寒別〟に来ることになりました。赴任したのは令和4年4月。5年目に入りましたが少しでも長く居られたらと願っています。

問寒別は、山菜（行者にんにく・タケノコ（笹竹など））採りや渓流釣り（山女魚・イトウなど）が好きな人、JR宗谷本線の秘境駅を巡る鉄道マニアにとっては有名な場所ですが、幌延町でもとりわけ雄大な自然を体験・満喫できるところですので、ぜひ一人でも多くの方に遊びに来てほしいと思います。

また、自然だけではなく、この地域に住んでいる人々もとても素晴らしくて、みなさん気さくな方ばかりです。お祭りやイベント、愛好会などの活動も多く交流も活発なため、私のような転勤族でも簡単に溶け込むことができました。

実は、赴任当初は不安もありました。問寒別に来るまでの間、出身地の帯広、大学や警察官になってからは札幌と釧路しか住んだことのない私にとって、道北は未知の世界だったからです。ところが、多くのみなさんから気軽に声をかけていただき、とてもありがたかったです。冬はマイナス30℃に迫るほど寒い山間部ですが、町民の心は温かく、地域全体に温もりを感じるところが、この地域の良いところで私の好きなところでもあります。

テレビの警察密着番組を見て、警察官に憧れて…

私の両親はともに地方公務員で、そんな家庭環境に育ったためか、いつしか公務員を志望していました。そのため大学では自治行政学科を選びました。では、なぜ市役所や消防などへ行かず警察官の道に進んだのかと言いますと、テレビの警察密着ドキュメント番組の影響を受けたからです。事件現場などで活躍する姿を見て憧れてしまったのです。高校では柔道に親しみ、その特技も活かせると思いました。

警察官として採用されてからは、多くの時間を地域課の交番で過ごしました。そうするとやがて、自分の気持ちの中で「地域の安全と安心を支える警察官になりたい」と思うようになり、住民との積極的な会話から、地域が抱えている問題を発見・解決する術がないかを探す努力を重ねてきました。その姿勢は問寒別に来てからも変わらず、日々、パトロールや巡回連絡だけではなく、挨拶や声をかけさせてもらっています。

警察官は事案の大小に関わらず感謝されることが多い職業ですが、逆に何かを教えてもらったり、協力していただいた時には私も感謝の言葉を伝えるよう心がけています。

ヒグマ対策にメロディ・パトロールを

住民の方には、巡回連絡や講話などで交通安全や振り込め詐欺などの注意喚起を促していますが、昨今はヒグマ問題も深刻です。当地でも今年6月に住宅地で足跡が発見されパトロールを強化しています。ヒグマも人間を警戒していますから、音出し効果を狙って、マイク音や道警音楽隊の曲を流す〝メロディ・パトロール〟も実施しています。



問寒別駐在所では、毎年1月10日、110番の日に警察官と地域の住民が協力して、本物に見える実物大の「雪のパトカー」づくりが恒例となっている。



●天塩警察署問寒別駐在所
天塩郡幌延町字問寒別31番地
☎01632-6-5002

★幌延町の東部に位置する問寒別地区は、上問寒、中問寒、問寒別などからなり、面積は東京都23区の約半分に匹敵。その広大な地域に現在約250人が暮らしている。かつては炭鉱に沸き、諸々の商店、飲食店、旅館、劇場が建ち並び、人口も最盛期には3千人近かった。現在は酪農業を中心とした地域で、高齢化が進んでいる。

しんきん伝言板



年金友の会日帰り旅行

7月22日(水)清田支店、8月3日(月)雄武支店、8月4日(火)・6日(木)札幌支店にて年金友の会日帰り旅行を開催いたしました。

それぞれ、洞爺湖町でさくらんぼ狩りやチーズ作り体験、名寄市にてブルーベリー狩りを楽しんでいただいたのち、参加者の皆さまで昼食を囲みました。

今後も各地区にてさまざまな催しがございますので、年金のお受け取りはぜひ“稚内しんきん”をご利用ください。


清田支店
さくらんぼ狩り


雄武支店
ブルーベリー狩り


札幌支店
チーズ作り体験

みなくるまつり

8月11日(火･祝)南支店にて「みなくるまつり」を開催いたしました。今年で３回目の開催となり、毎年恒例スタンプラリー縁日のほか、クレヨン・スクイーズ制作体験も加わり、たくさんの親子連れの皆さまにご来場いただき、子どもたちの楽しんでいる姿を目にすることができました。


クレヨン･スクイーズ制作体験


スタンプラリー縁日

わたしの推(お)しごと

～職員の趣味や好きなことをご紹介～


幌延支店
鈴木 純一さん

私の推しは「パン作り」です。

今年2月、押入れに眠っていたホームベーカリーを使ってみたのがきっかけで始めました。動画を見ながら独学で、あんパン・クリームパン・豆パン・ウインナーパンなどいろいろなパン作りに挑戦しています。

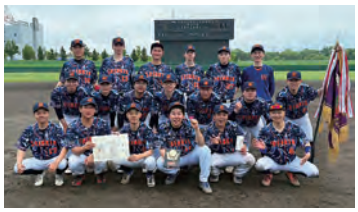
休日に焼きたてのパンを味わう時間が最高のリフレッシュ。家族や職場の方に食べてもらい「おいしい」の一言をいただけることが、次のパン作りの原動力になっています。


幌延支店のみなさん

全道信用金庫野球大会道北地区大会

6月27日(土)旭川市にて全道信用金庫野球大会道北地区大会が開催され、当金庫野球部が優勝を果たし、全道大会への切符を手にしました。

当日は雨模様で、開始時間を遅らせてのスタートとなりましたが、スタンドからの雨にも負けない声援も相まってホームランも飛び出し、見事6連覇を果たすことができました。


野球部のみなさん


ホームランを放った加藤選手

特殊詐欺被害未然防止

6月26日(金)、鬼志別支店の職員が特殊詐欺の被害を未然に防いだとして稚内警察署より感謝状を拝受いたしました。

特殊詐欺の手口も多様化していることから、当金庫でもお客さまの大切な資産をお守りするよう努めてまいりますので、少しでも不安に感じることがございましたら、お気軽に“稚内しんきん”までご相談ください。


感謝状を手にする鬼志別支店の職員

稚内信用金庫は 中小企業の円滑な事業承継をサポートします!!

■主な取引先の後継者

大進工業 株式会社〈猿払村〉
代表取締役 **中村　牧人** 氏（2026/5/15）
前代表取締役 中居寿裕氏は取締役会長に就任

株式会社 共栄〈遠別町〉
代表取締役社長 **酒谷　洋彦** 氏（2026/5/25）
前代表取締役 小泉幸一氏は代表取締役会長に就任

株式会社 福永産業〈猿払村〉
代表取締役 **福永　直紀** 氏（2026/5/28）

海王食品 株式会社〈猿払村〉
代表取締役 **太田　賢佑** 氏（2026/6/1）
前代表取締役社長 太田俊章氏は代表取締役会長に就任

有限会社 柳谷観光〈礼文町〉
代表取締役社長 **柳谷　裕司** 氏（2026/6/10）
前代表取締役 柳谷正武氏は取締役会長に就任

有限会社 後藤水道〈遠別町〉
代表取締役 **後藤　直喜** 氏（2026/7/1）
前代表取締役 後藤美喜氏は役員を辞任し、社内呼称として会長となる

※2026年5月～7月（　）は就任年月日

●商品のお問い合せ先
さいほく珈琲
稚内市富士見5 丁目1835
090-9523-3669
@saihoku_coffee
Online Shop

これぞ北の逸品・WAKKANAI de

いいもの見つけた

ザ★プレゼント



プレゼント商品
珈琲ドリップバッグ
世界の珈琲８種類セット

今回ご紹介した稚内市のさいほく珈琲の「珈琲ドリップバッグ」を、抽選で5名様にプレゼントいたします。ご希望の方は、おハガキに「珈琲ドリップバッグ」と書き、①住所 ②氏名 ③年齢 ④職業 ⑤電話番号 ⑥ジャスト・ナウに対するご意見、ご感想等をご記入のうえ下記まで郵送ください。

●送先／〒097-0005
稚内市大黒3丁目3番38号
稚内信用金庫
ジャスト・ナウ編集部行
●締切／2026年11月30日(月)
(当日消印有効)
●当選者の発表／商品の発送をもって換えさせていただきます。※12月中旬頃発送予定

読者のお便りコーナー

★宗谷に住んで40年。「ジャスト・ナウ」を読みながら、改めて宗谷の良さを感じながら生活しています。知らなかったことが冊子に掲載され、訪れてみたい場所を確認しながら楽しんで読んでいます！
枝幸支店のみなさまには大変お世話になっております！
(枝幸町・60代)

★毎回、ジャスト・ナウを届けて頂き、楽しみな時間をありがとう。私の生まれた樺太を見に、天気のいい日に車で出掛けてみようと計画中。夫は稚内米軍基地で仕事をした場所に行ってみたいと。ゆっくりと車で回りたいね。
(旭川市・70代)

★近くの稚内信金札幌支店に行くたびに、このジャスト・ナウを読むのを楽しみにしています。私は礼文出身で宗谷管内で長く勤務していましたので、この冊子に出てくる人たちがとてもなつかしく、今回は誰が登場するのか、本当に楽しみです。これからもたくさんの情報を楽しみにしています。(札幌市・60代)

※一部抜粋して掲載しています。

見る。聞く。嗅ぐ。触れる。味わう。一杯の中に広がる、五感のアート。さいほく珈琲の★**珈琲ドリップバッグ**



さいほく珈琲
代表
小玉 道晃さん

北海道は珈琲好きの人が多いと聞いたことがあります。寒い北国だから、温かい飲みものが欲しくなるのでしょうか。総務省統計局の品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキングによれば、北海道・札幌の消費量は2018～2020年では京都に次ぐ第2位。2022～2024年でも7位につけるなど、北海道・札幌は珈琲王国と呼んでもさしつかえなさそうです（消費金額でも上位）。

それほど私たちの生活に珈琲文化が根づいていますが、あなたはどんなタイプがお好きですか。カフェや専門店でいただくエスプレッソや本格的なハンドドリップ？職場で休憩や打ち合せで飲むオフィスコーヒー？あるいはファストフード店やコンビニ店頭と答える人もいるかも知れません。それでも家で楽しむ珈琲がいちばんだと言う人も多いようです。

さて、今回ご紹介する稚内の『さいほく珈琲』は珈琲自家焙煎所（豆の販売店）です。産地や焙煎度など、自分好みの珈琲の味と出会うことができるお店です。

★鮮度重視の自家焙煎珈琲

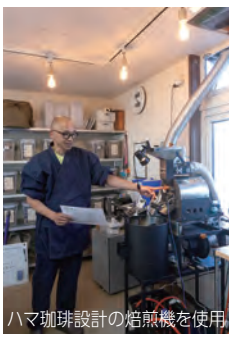
「私の珈琲歴は粉のインスタントコーヒーからはじまりました。やがて『顆粒の方が少しおいしいな。やっぱりレギュラーコーヒーがおいしい。自分で豆を挽く時の香りがいちばんイイ。じゃあ自分で焙煎してみよう！」となっていって、YouTubeで検索したところ〝ハマ珈琲〟さんの手鍋焙煎に出会い『自分で焙煎すると珈琲はこんなにもおいしくなるのか』と感動し、珈琲は鮮度が命であると確信しました。これを多くの人とシェアしたいと思い、2023年春に開業しました。

常時30種類以上の世界の各産地から選りすぐった生豆を用意し、オーダーを受けてからお好みの焙煎度に合わせて焙煎し、新鮮な珈琲の提供をお約束します」

★お試しに最適な珈琲ドリップバッグ

「稚内では毎年〝わっかないコーヒーフェスティバル〟（今年で11回目）を開催し、私も参加させていただいています。その際、お好みの味を見つけてもらえるようバラエティ豊かな『珈琲ドリップバッグ』をつくりました。フルーティな浅煎から、チョコレートやナッツのように濃く香る深煎など、手軽にお試しいただけます」

新鮮な状態で珈琲を味わってもらうため、オーダー後に焙煎をはじめる小玉さん。おいしい珈琲を飲むためには「煎りたて」「挽きたて」「淹れたて」の3たてを推奨。



ハマ珈琲設計の焙煎機を使用



珈琲ドリップバッグ一例
世界の珈琲８種類セット
各250円～(消費税込み)
●インドネシア産マンデリン2種類●エチオピア産イルガチャフィ2種類●グアテマラ産オリエンテナチュラル●ブラジル産サントスNo. 2●メキシコ産チアパス・カフェインレス●SAIHOKU COFFEE ブレンド



●ドリップバッグのおいしい淹れ方／83～93℃前後のお湯を粉に少量注ぎ、30秒ほど蒸らした後、数回に分けてお湯を注ぎましょう。

●豆の特徴や焙煎度などに関しては Online Shop情報をお役立てください。

VEGETABLE OIL INK
UD FONT by MORISAWA